


# 海の命を守ろう


海の環境について




# 「マイクロプラスチック」 とは？

海には、たくさんの「**マイクロプラスチック**」が流れています。マイクロプラスチックは、**人の捨てたプラごみ**が漂流して、やがて**小さくなったプラごみ**のことです。

マイクロプラスチックは、**亀や魚が誤飲**してしまったりします。なので、いずれは、私たちの体にも…

現在ではプラごみを減らすために、微生物からつくられた「**グリーンプラネット**」という新素材が研究されています。グリーンプラネットは、**プラスチックよりはるかに分解が速い**素材です。なので、もし海に流れても分解されるので**環境にやさしい**です！※だからといってポイ捨てしてはいけませんよ！

※グリーンプラネットはまだ普及していないので乞うご期待

ということで、プラごみはなるべくリサイクルしましょう。

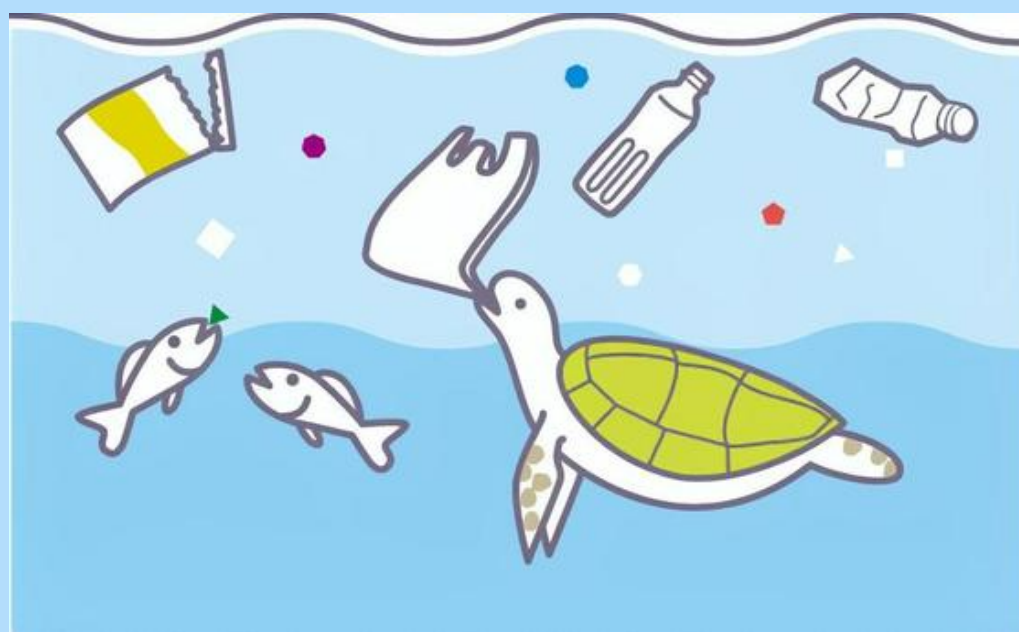
# 自然を守ろう

学んだこと

海には、マイクロプラスチックがたくさんある。

人が捨てたゴミが海に流れ込み生き物が間違えて食べてしまうことがある。

人間が捨てたゴミを生き物が食べて、いずれは、人間の体内に帰ってくる可能性もある。



# 自分たちにできること



## 1, なるべくごみを出さない

### 理由

ゴミを出しすぎると環境、社会、そして個人的な生活にそれぞれに悪影響が及びます。具体的には、地球温暖化の推進、処理費用の増大とかです。

## 2, ポイ捨てをしない。

### 理由

「ごみをポイ捨てすると風でゴミが海にいったら海が汚れるから」

### 対策

「ゴミをゴミ箱に入れる」



## 3, 買い物をするときはレジ袋を貰わずマイバックを持っていく

### 理由

「2020年7月1日全国で一斉にレジ袋が有料化」の理由はもっとマイバックを復旧させ環境問題へのみんなの意識を高めようとしている事らしいです。

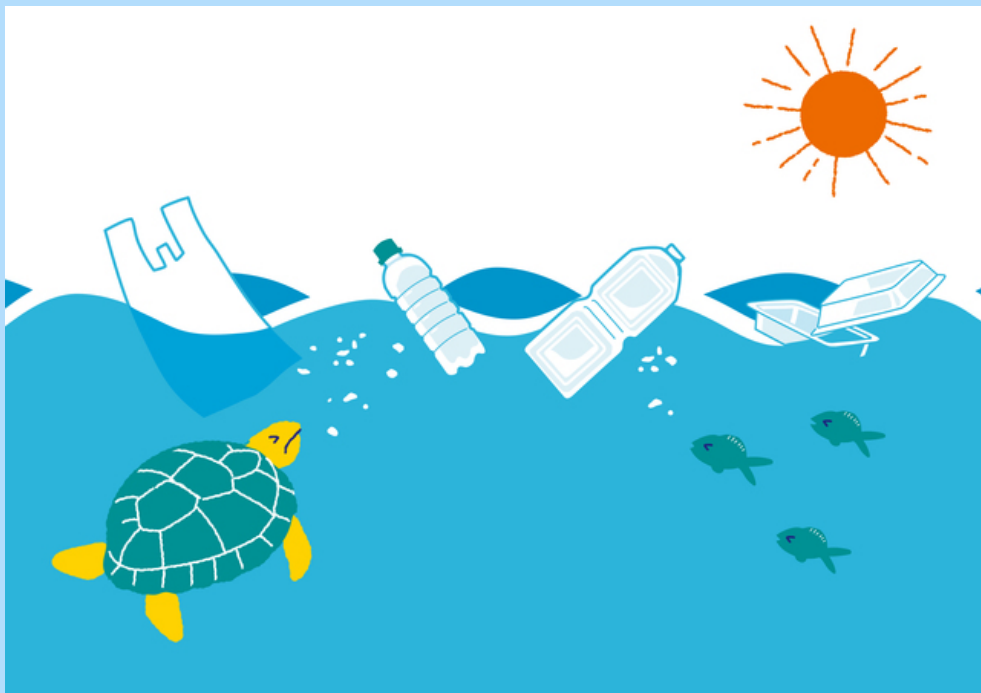
## 4, 海に落ちているごみを拾う

### 理由

海に落ちてるゴミを拾うことで魚たちがマイクロプラスチックなどを餌だと勘違いしなくて済む

# ポイ捨てダメ絶対

ポイ捨てをすると風で海にもゴミが飛んでしまっていて魚が食べてしまうことがあります。魚がゴミを食べてしまうと死んでしまうこともある。だからポイ捨てをやめよう。町の人や観光客の方にこの町がいい町だと思ってもらえるようにポイ捨てをやめよう。



# まとめ



## 伝えたいこと

海に浮いているゴミを餌だと思ってしまい魚が食べてしまうことがあります。海だけではなく街にポイ捨てをすると風や河川を通じて海へ流れてしまうことがあります。

## 今からできること

- ポイ捨てをしないでゴミ箱に捨てたり、近くにゴミが落ちていたりしたらそのままにしないで拾う。
- プラスチック汚染を減らすには、ペットボトルではなくマイボトル（水筒）を使う。缶のものを買う。
- レジ袋・ポリ袋の代わりにマイバッグを使うなどもあります。

こういうひとつひとつの意識が海の生き物を救うことにつながります。

## この学習を通して私たちが感じたこと

一人ひとりにできることは小さくても、多くの人が取り組むことで環境を守ることができる。

今からできることを私たちもやっていきたいと思った。

